



# (仮称) タクマビル新館 (研修センター) 新築工事

株式会社 タクマ

株式会社 竹中工務店大阪本店 一級建築事務所

株式会社 竹中工務店大阪本店

兵庫県尼崎市金楽寺町 2 - 2 - 33

竣工済につき  
簡略版としています

竣工済

## 提案の 概要



### A. プロジェクト全体の概要

- 6階建て耐火建築物の研修センターを新築。

### B. 提案する木造化・木質化の取り組み内容の概要

- 耐火集成材 (燃エンウッド柱)、CLT 耐震壁、CLT 木あらかし仕上、木造耐風マリオンの採用による木造化。

### C. 提案のアピールポイント

- 「耐火集成材 (燃エンウッド柱)」「CLT + 鉄骨ハイブリッド構造」「免震構造」を組み合わせた、次世代木質構造建築を準防火地域で実現。



北東側からの外観 手前が今回の研修センター、奥に既存本社建物

## 評価の ポイント



耐火集成材及び「CLT + 鉄骨ハイブリッド構造」で2時間耐火を実現し、そこに「免震構造」を組み合わせた、6階建て耐火建築物を実現するプロジェクト。

2時間耐火の耐火集成材と鉄骨梁の組み合わせで多層化しつつ、鉄骨フレームで拘束する CLT 耐震壁を2時間耐火に対応させて採用。外装の風荷重を負担するマリオンにも木材を利用。また、上部構造と免震装置をダイレクトに接続し、免震構造特有の RC フーチングを無くし、施工効率を改善する計画である。木質ハイブリッド免震構造の施工歩掛を数値化し、施工効率の優位性を公開することで、中高層木造建築物の普及促進につなげる。内装材は積極的に木質材料を採用し、見学者に木造・木質空間を体験してもらい、木造木質技術の普及を目指す。幹線道路側に耐火集成材が用いられており、木造化がよくわかる構造となっており、普及・波及効果が期待される。

プロジェクトの  
全体概要

西日本初

耐火集成材(燃エンウッド柱)  
→2時間耐火柱は関西圏初

CLT(S90)+鉄骨ハイブリッド構造

木造カーテンウォール  
→風圧を負担するマリオン、  
トランザムを集成材で構成

木質のあらし仕上げ  
→内外部とも木仕上げ材を使用

基礎免震×木造  
→耐震安全性・設計自由度を向上



木造化の概要

木造化・木質化の  
取り組み  
内容

先端性・先進性

【構造面での先進性】

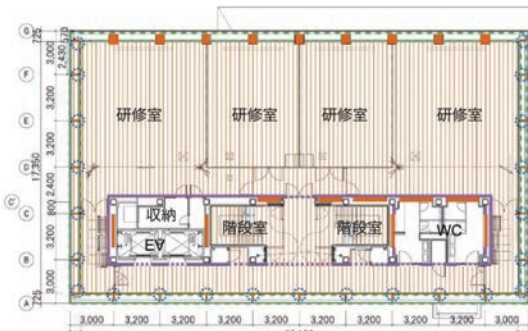
●耐火集成材及び「CLT+鉄骨ハイブリッド構造」で2時間耐火を実現し、そこに「免震構造」を組み合わせた木質ハイブリッド構造の新たなモデルを構築する。

【防火面での先進性】

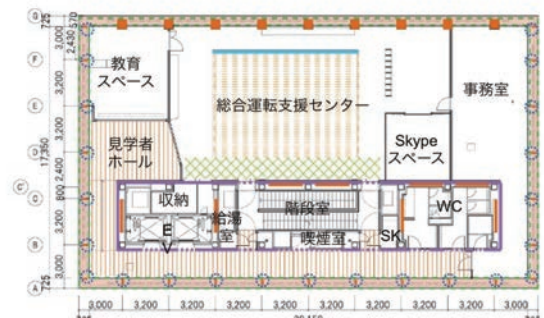
●2時間耐火の耐火集成材「燃エンウッド」柱を西日本で初採用し、「CLT+鉄骨ハイブリッド構造」も2時間耐火に対応することで、木質ハイブリッド構造として最上部より14層までの採用が可能となり、適用可能範囲が大幅に拡大する。

波及性・普及性

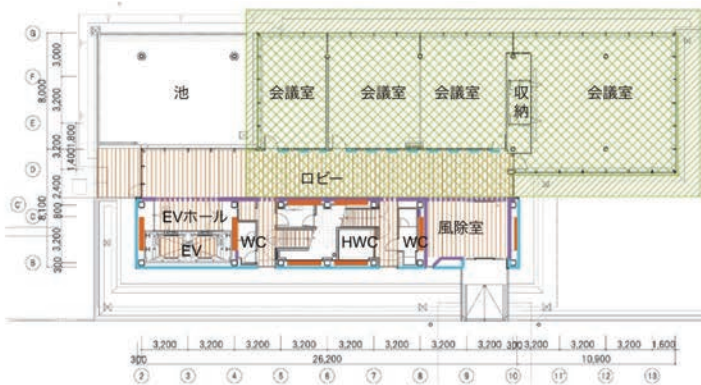
- 外装の風荷重を負担するマリオン及びトランザムにも木材を利用。
- 木造+S造ハイブリッド構造(2階~6階北面の柱すべてに耐火集成材(燃エンウッド柱)、鉄骨柱以外の耐震要素としてCLTを採用)。
- 幹線道路側に耐火集成材が用いられており、木造化がよくわかる構造。
- 内装材は積極的に木質材料を採用し、見学者が木造・木質空間を体験可能。



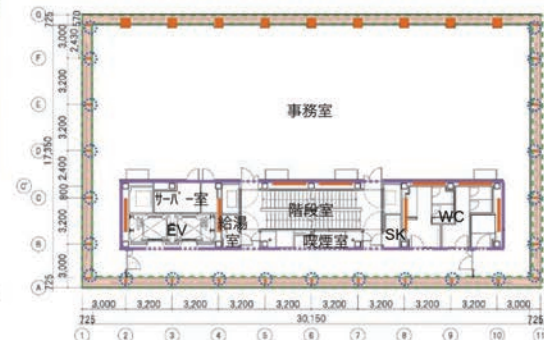
2階平面図



6階平面図

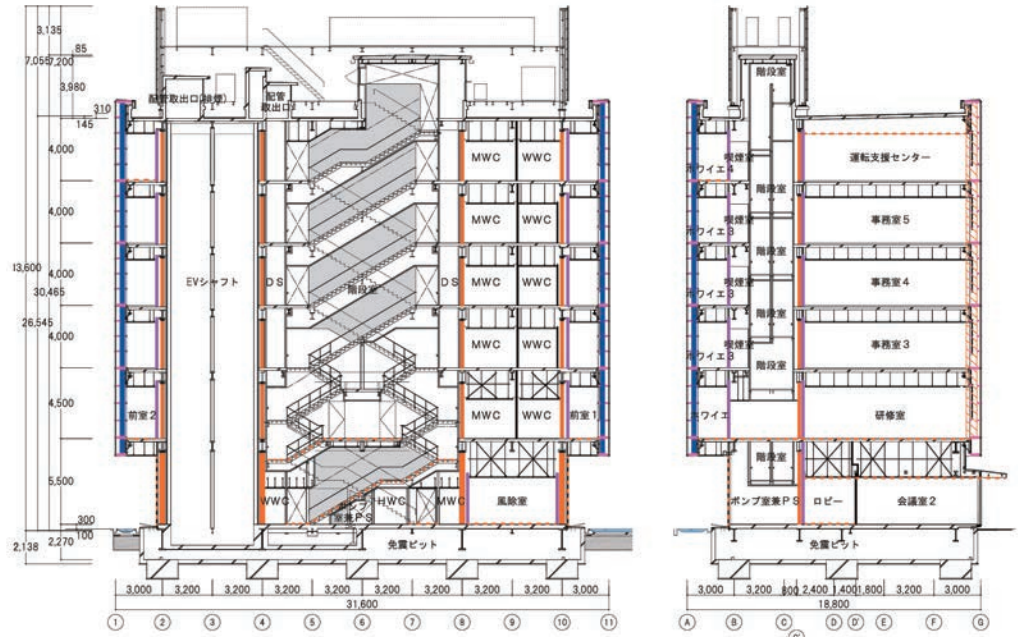


1階平面図



3~5階平面図

	CLT壁(耐震壁)		CLT壁(仕上)		燃エンウッド柱		集成材マリオン		集成材トランザム		集成材床パネル
	木仕上げ壁		木壁ルーバー		木フローリング		木天井ルーバー		天井木クロス		軒天木板張り



断面図

- CLT壁 (耐震壁)
- CLT壁 (仕上げ)
- 燃エンウッド柱
- 集成材 マリオン
- 集成材 トランザム
- 木仕上げ (床・壁・天井)

プロジェクト  
データ



提案者 (事業者・建築主)、設計者・施工者、建設地は扉頁参照

建物名称: (仮称) タクマビル新館 (研修センター) 新築工事

主要用途: 事務所

主要構造: 木造化 (  軸組構法  枠組壁工法  丸太組構法  その他 (鉄骨造+木造) )

防火地域等の区分:  防火地域  準防火地域  法22条区域  その他の地域

耐火建築物等の要件:  耐火建築物  準耐火建築物 (60分耐火)  準耐火建築物 (45分耐火)  その他の建築物

敷地面積: 8,659.44㎡

建築面積: 707.89㎡

延べ面積: 3,334.35㎡

軒高: 26.545m

最高の高さ: 33.6m

階数: 地上6階

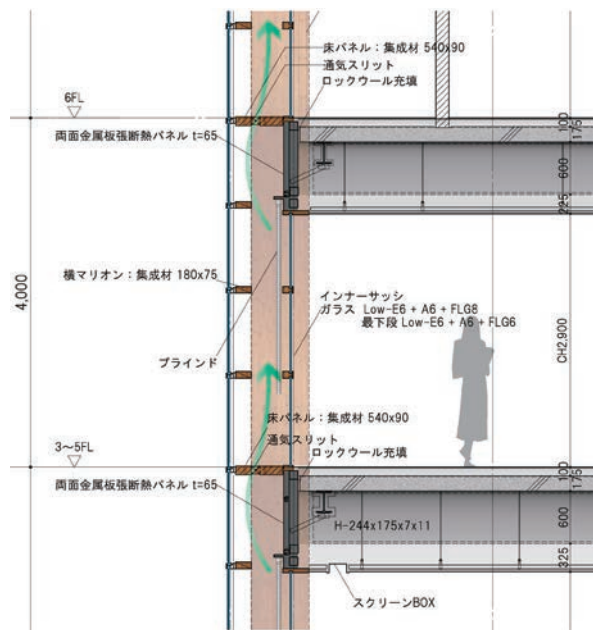
構造用木材使用量: 390.2㎡

うち CLT 等の使用量: 281.8㎡

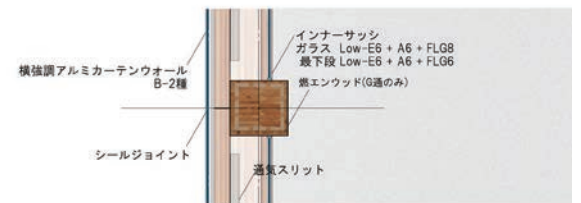
事業期間: 平成30年12月~令和2年10月

補助対象事業費: 1,266,803千円

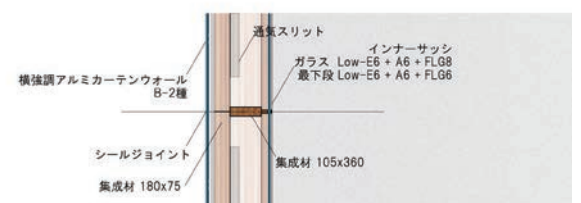
補助限度額: 194,200千円



カーテンウォール部矩計図



燃エンウッド部平面図



集成材マリオン部平面図



東からの外観 (左は既存本社棟)



1階ロビー



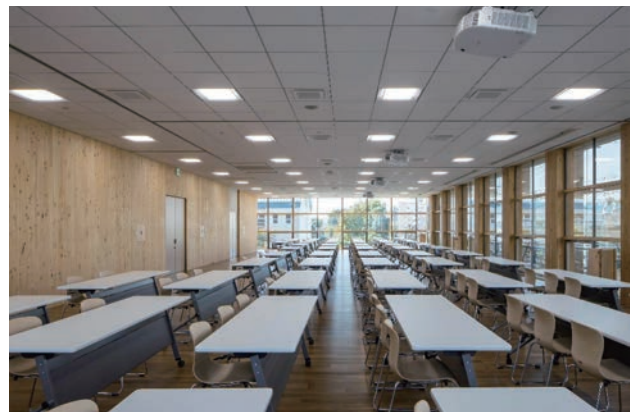
5階事務室内観



2階ホワイエ



6階 Solution Lab



会議室